

14日の出発日には、県庁で結団式が行われました。監督・選手は揃いのユニフォーム姿で式に臨み、県旗の授与、県知事などの激励や激励賞の贈呈を受け、最後にテニスの瀬下安男選手が「精一杯プレーするとともに鹿児島県を全国の皆さまにPRして参ります」と決意を述べました。

大会初日には熊本県民総合運動公園陸上競技場で常陸宮殿下ご夫妻を迎えて総合開会式があり、本県



第24回全国健康福祉祭(ねんりんピック2011熊本)は、去る10月15日から18日までの四日間、熊本県で開催されました。鹿児島県からは諏訪弘美県社会福祉協議会常務理事を団長に、21競技に監督・選手153人・役員10人の総勢163人が参加しました。

ねんりんピック2011熊本 鹿児島県選手団163人参加

選手団は旗手(瀬下安男選手)を先頭に堂々の行進を行いました。

16日、17日は熊本県下9市4町で交流大会が行われ、当県の選手は長年の経験と日頃の練習の成果を遺憾なく発揮し各種目で好成績を上げました。

また、次回(第25回)は、「伊達の地に 実れ!ねんりん いきいきと」をテーマに、宮城県で開催されます。

平成23年度 「かごしまねんりん大学」 公開講座を開催

地域活動に意欲のある高齢者の方々に対して、社会参加に役に立つ知識や技能を修得していただく機会を提供する「かごしまねんりん大学」の講座の一つとして、平成23年10月30日(日)に鹿児島県立奄美図書館において「公開講座」を開催し、137人の受講がありました。



講演では、地域力を活かした定住促進事業や農業地域振興事業に取り組んでいる薩摩川内市峰山地区コミュニティ協議会会長の徳田勝章氏が、「田田太古の響くSLOWな都市づくり」と題して話されました。

住民が力を合わせて整備し県内外から多くの人々が訪れている柳山アグリランドの映像を見た受講生からは、“ぜひ現地を見てみたい”、“私もそのような場所に住んで、一緒に活動してみたい”などの声が聴こえてきました。



講師の徳田氏